

みんなでシェアパーキング。

目的地の近くに駐車場がない、どこも満車で空いていない。行楽シーズンや人気スポット周辺で、誰もが一度はこのような経験をしたことがあるのではないのでしょうか。シェアパーキングは、個人宅などの使われていない駐車場や土地を不特定多数の人に有料で貸し出す仕組み。まちなかの駐車場不足を解消する手段の一つとして各地で取り組みが始まっています。

本市でも、来年の大河ドラマ放送に合わせたドラマ館の開館により、周辺の駐車場不足や交通渋滞が予測されます。これに対応するため、シェアパーキングの実証実験を桜まつり期間中に行うことにしました。事前にご登録いただいた駐車場データを専用アプリで公開し、利用者とマッチング。料金は登録したクレジットカードなどで支払います。この利用結果を踏まえて花火大会に向け調整し、以降、混み合う時期に活用することで、市民生活に支障を来すことなく、来訪される皆さんが快適に回遊していただけるよう取り組んでまいります。

※駐車場提供の募集は、23ページをご覧ください。



岡崎市長
中根 康浩